

・F-SUS(エフサス)よこはまが生まれ変わります! ～リニューアルオープン～

「F-SUS よこはま」は、横浜で起業し、さらに成長と発展を志す女性起業家をサポートするため女性専用のレンタルオフィスとして、2011年6月に誕生しました。これまでに55名が会員として登録し、37名が卒業、21名が現在、自身のオフィスで事業を進めています。

昨年度は、「女性起業家支援チーム」がサポートした会員が、創業促進補助金の対象者として採択され、会社を立ち上げるなど様々な成果をあげています。

このたび、会員からの要望にこたえ、これまでのレンタルオフィスに加え、より使いやすい女性起業家の交流拠点とするため、会員向けの交流会やミニセミナーなど、

気軽な情報交換の場として活用できる定員20名の「セミナールーム」を新設します。このスペースは、IDECが講演などに使用するほか、会員はもちろん、OG会員など女性起業家がそれぞれのアイディアでセミナーやイベントを開催することもできるよう柔軟な運営を行い、多様な交流機会の場として活用いただけます。

また、やや手狭だった打ち合わせスペースに加え、会員が取引先等との会議・商談などに利用できる「商談ルーム」も新設し、オフィスとしての機能をアップします。

こうした設備の改善のほか、支援についても経験豊かな専門家をF-SUS専任担当者として配置し、その場で気軽に相談できる体



▲ F-SUS よこはまリニューアル完成予想図

制を整えるほか、それぞれの会員の事業に応じたフォローをこれまでも増して強化します。

ビジネス拠点としてはもちろん、インキュベーション機能も充実した「F-SUS よこはま」にご期待ください。

詳細は、IDECホームページ <http://www.idec.or.jp/kigyo/woman/>

(問 経営支援課 045-225-3714)

・第2回上海交易会に市内企業が出展

4月24日から26日まで「第2回中国国際技術輸出入交易会(上海交易会)」が開催されました。中国の大規模な国際見本市は、広州で毎年春と秋に開催される「広州交易会」があり、「世界の工場」である中国製品の展示会として知られています。

しかし、安い製品を大量生産して輸出する構造からの脱皮を図るため、中国政府は技術や知的財産権の貿易に力を入れており、このため「上海交易会」が昨年から開催されています。

2回目にあたる今年は国内外から約900の企業・機関が出展し、来場者は38,500人でした。横浜からは、「生産管理ソフトウェア」「オリジナルスピーカーキッ

ト」「乳児にも安全な天然由来の除菌・抗菌ジェル」「盗難防止・弛み止めネジ」など独自の製品・サービスを提供する市内企業4社が出展し、来場者の注目を集めました。

4社あわせて135件にのぼる活発な商談が行われ、技術革新がめざましい中国においても、依然として「日本製」に対する評価・信頼が高いことが実感されました。盗難防止・弛み止めネジを出品したロックン・ボルトの長谷川賢司社長は「中国の展示会ということで当初不安もあったが、さまざまな企業と商談を行うことができてだけでなく、生の情報を得ることができてよかった。」と手ごたえを感じていました。



▲ 第2回上海交易会 横浜ブース

今回出展した4社のうち3社が中国では初めての展示会でしたが、IDEC上海事務所のスタッフが関連機関・企業の紹介、商談の付添いや契約書のリーガルチェック手配など、中小企業にとって慣れない海外での展示会のサポートを行いました。

詳細は、IDEC国際ビジネス支援部 (問 045-225-3730までお問い合わせください)

ワンストップ経営相談窓口をご利用ください

創業や企業の経営課題の解決に向けて、IDEC職員・専門家がお手伝いをします!

TEL.(045)225-3711(財団本部) TEL.(045)788-9571(金沢拠点)

www.idec.or.jp/keiei/

■ Pick Up

文京区本郷で医療機器関連企業との商談会を開催

3月12日、13日の2日間にわたり日本医療機器協会との共催で「本郷展示会」を開催しました。文京区本郷は国内最大の中小医療機器産業の集積地域です。周辺には東大をはじめ、順天堂大、東京医科歯科大、日本医科大など多くの医科大学が集まっており、産学連携もさかんに行われています。

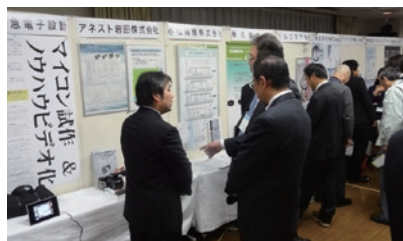
展示会には、機械加工・情報通信・ソフトウェア関連の市内企業計31社が出展し、会場の医科器械会館には、本郷地区から医療機

器関連企業など計50社が来場しました。

技術・商品説明など活発な意見交換が行われ、機械加工が得意な市内企業が、眼科用の治療機器の加工を受注したほか、手術用器具のパーツの試作や加工についての見積依頼など20件のマッチングを行いました。なかには、開発中のシステムに興味がある医師を紹介され、新たなビジネスチャンスが開けた企業もあり、「商談を通して、医療分野進出の可能性を感じることができた」などの声もありました。

りました。

IDECでは今後も引き続き医療機器分野への参入支援セミナー・商談会を開催いたします。関心のある方はご連絡ください。



▲ 本郷展示会

詳細は、IDEC技術支援課までお問い合わせください。(問 技術支援課 045-225-3733)

国際ビジネスの相談はお気軽に～最近の事例紹介～

IDECの国際ビジネス相談窓口では、海外市場の開拓や拠点進出、輸出入などさまざまな相談におこたえています。昨年度寄せられた519件の相談のなかから事例を紹介します。

大川原化工機(都筑区・噴霧乾燥機製造)はインドネシアでの受注に対応するため、社員の派遣を検討し、同国の就労許可の取得などについての情報を得るため、「国際ビジネス相談」を利用しました。この案件は、大手商社出身でインドネシアに長期駐在した経験があ

る「IDEC ビジネスエキスパート」滝沢透氏が担当しました。滝沢氏は、インドネシアの就労制度について説明するとともに、現地の取引先と契約を行う際の注意点や商慣行などについてもアドバイスしました。

大川原化工機の横山氏からは、「聞きたかったこと以外にも、想定していなかった課題や留意点などに気づき、相談のなかでさまざまな情報を得ることができた。このような面談形式での機会をぜひ増やしてほしい」というコメント

をいただきました。

市内中小企業ならどなたでも無料で年間3回まで「国際ビジネス相談」により専門家のアドバイスを受けることができます。

このほかにも、相談が多い中国、タイ、ベトナムなどの国別や輸出入・貿易実務等のテーマをIDECが設定して、専門家に相談できる「海外ビジネス相談会」を毎月4回実施しています。国際ビジネス相談、相談会ともホームページから専門家の検索や申込みができます。

詳細は、IDECホームページ <http://www.idec.or.jp/kaigai/soudan/>

(問 国際ビジネス支援課 045-225-3730)

ものづくりガイドブック2014発刊

「横浜グローバルものづくり企業ガイド」は、横浜を代表する中小企業の技術力や製品の特徴をコンパクトに紹介する実践的なカタログ集として、昨年から発行を開始しました。ものづくりコーディネーターやIDEC職員が大手企業や大学などを訪問する際に常に携帯し活用したほか、展示会や見本市、商談会などの機会に配付しました。

2013年版は大手企業から「セールスポイントがわかりやすい」「加工設備が掲載されており技術レベルを判断しやすい」などの評価をいただきました。

また、掲載企業からは、ガイドが契機となって「これまで取引のなかった企業とのビジネスが始まった」「冊子を見たメディアに自社商品がとりあげられた」などの声が寄せられ、見積もり依頼、試作受注など多くのビジネスにつながりました。

2014年版は、自動車、航空宇宙、医療介護福祉、環境エネルギー、アグリ食品まで日本産業を支えている選りすぐりの横浜企業134社の底力をお見せいたします。本ガイドはIDECのホームページからもダウンロードできますので、ぜひご利用ください。



▲ 横浜グローバルものづくり企業ガイド

詳細は、IDECホームページ <http://www.idec.or.jp/renkei/guide/>

(問 技術支援課 045-225-3733)

■ Pick Up

IDECの支援でアメリカの入浴剤を日本初輸入

肌と環境にやさしい入浴剤の店「入浴剤ばんざい！」（港南区）の青木代表は、子供の頃からアトピー症で肌に悩みを持っていました。自分にあう入浴剤をいろいろ試したなかで、2年前にアメリカみやげとしてもらった海藻入り入浴剤には、これまでにない効果を実感しました。

「肌の弱い方、敏感な方の役に立ちたい！」そんな熱い想いを抱きながら、すぐにテキサスのメーカーに会い、輸入を提案したものの、貿易に関する十分な知識もノウハウもなかったため、なかば諦

めかけていたときに、IDECの海外ビジネスセミナーに参加。化粧品輸入を行っている女性経営者の体験談に触発され、本格的に輸入に取り組んでみようと思いつきました。

その後、IDECのグローバル経営支援事業を活用して月に1、2回専門家の助言をえて、約半年でメーカーとの機密保持契約締結から製品輸入までを実現しました。メールだけではメーカーとの意思疎通が困難だったため、IDECスタッフが同席しスカイプ会議も行いました。青木代表は、

「IDECのような公的機関がサポートをしていると知り、先方の対応がぐっと改善した」といいます。本製品は、今後大型店舗でも取扱いが予定されています。



▲ 4種の香りが楽しめる入浴剤

詳細は、IDECホームページ <http://www.idec.or.jp/kaigai/consulting/> (問 国際ビジネス支援課 045-225-3730)

販売・企画戦略、広報戦略のコンサルティング機能強化！

IDECは、横浜市唯一の中小企業支援センターとして、経営・創業、技術、国際ビジネスなど中小企業の皆さまの課題を解決するためのさまざまなサービスを提供しています。

昨年夏にIDECのメールマガジン読者を対象に行ったアンケートによると、「経営課題」は、「販路開拓」が25%に達し、「資金支援」(18%)を上まわりトップでした。従来あった取引システムが構造的な転換期を迎えており、中小企業は生き残りをかけて、販路開拓を

はじめ、新商品開発、新事業展開等これまでとは異なる事業展開を迫られています。

こうした意見や要望を踏まえ、7月からあらたに販売・企画戦略、広報戦略を重点にこれまでよりも一歩踏み込んだ支援を行う「中小企業支援コンシェルジュ事業」をスタートさせます。

この事業は、バランスシートには表れない、個々の中小企業が持っている本来の強みを探りあて、真のセールスポイントをいかしてターゲットを絞り込むことが

らスタートします。そのうえで、必要な人や企業とのマッチングやブランドイメージの構築を支援することによって、具体的な売上げのアップに結びつけていくことを目的としています。

新しいサービスを提供するため、ビジネスコンサルタントや企業広報・ブランド構築などの実績と経験のある民間の専門的人材を広く公募し、IDEC職員とチームを組むことによって支援体制を強化します。ご期待ください。

詳細は、IDECホームページ <http://www.idec.or.jp/keiei/concierge/>

(問 経営支援課 045-225-3714)

■ Column「IDEC上海事務所レポート」

日本製「高機能・高品質」靴下を中国へ

靴下・ストッキング企画・製造・販売の三笠（港南区）は、大量生産品を中国で委託生産するため2006年に上海に進出しました。しかし、その後、「高機能・高品質」な付加価値の高い靴下を生産するため2011年、日本一の靴下の産地、奈良県に自社工場を開設しました。現在は中国からの輸入のかたわら、日本製靴下の中国市場開拓に挑戦しています。

奈良工場が開発したゴムなし靴下や発熱繊維を使用した靴下は、足のむくみや冷えに悩む高

齢者のあいだでヒット商品となっていますが、中国では類似商品がほとんど出回っていない点に注目。中国各地の靴下製造工場や取扱業者を調査した甘利茂伸社長は、「高齢化が進む中国では、高齢者に適した素材や機能をもった商品の需要は今後伸びるはず」と意欲的です。

同社は、上海事務所の紹介により、雑貨・小物の国際取引市場のある浙江省義烏市で6月に開催された「APEC 中小企業技術交流展」に参加しました。

同交流展には上海事務所も出

上海事務所副所長 川北 彰子

展しており、展示会などを通じて「着脱簡単片手で履ける靴下」、「発熱素材の膝関節用サポーター」など高齢者用品の市場開拓を支援しました。



▲ 展示会風景

※ 各種イベントを開催しています

/ 2014.7～9 /

イベント名 / 会場	時期
創業セミナー「創業の経理・会計の基礎コース」/ IDEC大会議室 経営に役立つ経理と財務諸表の見方を学びます。 7月1日(火)、4日(金)、8日(火)、11日(金)	全4回 18:30～20:30
第7回F-SUSサロン&女性交流会 / 横浜メディアビジネスセンター8階(講演)・7階(交流会) 「デザイン思考による未来構想・創造」をテーマに講演を行います。	7月3日(木) 13:30～16:00
人民元および上海自由貿易試験区セミナー / 横浜情報文化センター 情文ホール 三井住友銀行との連携により最新情報をお届けします。	7月14日(月) 14:00～16:30
売れる商品・サービスの作り方 / IDEC大会議室 売れる商品・サービスをつくるためのブランディングとPR戦略について楽しく学びます。	7月17日(木) 18:30～20:30
ホームページの営業力を高める3つのポイント / IDEC大会議室 本当に重要なのはホームページでの「接客」です。その意味とやり方をご紹介します。	7月22日(火) 18:30～20:30
やる気を引き出し大きく育てる部下育成法 / IDEC大会議室 中間管理職の方を対象に部下のやる気を引き出しながら仕事を教えるコツを学びます。	9月9日(火) 15:00～17:00

上記イベントはほんの一部です。詳しくはホームページ「イベントのお知らせ」をご覧ください。

IDEC横浜

検索

メルマガ登録者募集中!

事業などの情報をタイムリーにお知らせするため、各種メールマガジンを配信しています。どなたでも登録できます。IDECホームページ <http://www.idec.or.jp/>「財団からの情報」の「財団発行メールマガジン」をご覧ください。

Information

IDEC施設入居者募集

- 横浜新技術創造館(鶴見区:研究室・事務室)
- 横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア(金沢区:研究室・事務室)
- 横浜産学共同研究センター(鶴見区:実験棟・研究棟)
- 横浜市金沢産業振興センター(金沢区:事務室)
- 横浜情報文化センター(中区:事務室)

詳細はIDECホームページ <http://www.idec.or.jp/>「施設のご案内」メニューから、各施設の入居募集案内をご覧ください。

問 施設経営部 045-225-3710

ワンストップ経営相談のご案内 - お気軽にご利用ください -

創業や経営、技術、国際ビジネスなどさまざまな課題について、IDEC職員や専門家が無料(一部のものを除く)でおこたえします。

窓口相談 (事前にご予約ください)

IDEC本部や金沢産業振興センターで企業の皆さまのさまざまな経営課題についてのご相談におこたえします。

技術相談 (事前申込制・申込方法は以下参照)

大手企業OBなどの専門家が中小企業の皆さまを訪問し、技術課題の解決をお手伝いします。

国際ビジネス相談 (先着・事前申込制)

経験豊かな専門家が中国、タイ、ベトナムなどの対象地域や貿易取引など実務についてテーマごとの相談会を毎月開催します。スケジュールとお申し込みは、IDECホームページ「イベントのお知らせ」をご覧ください。

専門家相談 (事前申込制・申込方法は以下参照)

弁護士、社会保険労務士など分野別に曜日を決めてご相談におこたえします。法律(火曜日)、労務(金曜日)、IT活用(木曜日)

エキスパート面接 (事前申込制)

事業計画、マーケティング、新事業、経営革新に取り組む上での具体的な課題などについて専門家が直接おこたえします。

経営コンサルティング

経営革新や新規事業展開などを旨とする中小企業に専門家が継続的コンサルティングを実施します。

申込方法

IDECホームページ <http://www.idec.or.jp/> の「ニーズ別事業紹介」のメニューからご希望の事業を選び、各事業のページから相談事業を選んで申し込んでください。
なお、はじめて利用する方は、新規ユーザー登録が必要です(一部のものを除く)。

編集後記

IDEC ニュースレター 10 号をお届けします。本紙は3年前に公益財団法人への移行を契機に、中小企業の皆さまに IDEC の事業を少しでも理解していただくきっかけになればという想いで発刊しました。昨年7月に実施したメールマガジン読者を対象としたアンケートでは、「IDEC をどのようにして

知ったのか」という質問に、「ニュースレター」というお答えを14%の方からいただきました。本紙が少しずつ皆さまに、浸透していることがうかがわれます。今後も、スタッフ一同、よりよい紙面づくりに努めてまいります。ご意見、ご感想をお寄せください。